

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4590100402		
法人名	宮崎医療生活協同組合		
事業所名	グループホーム にじの樹		
所在地	宮崎市和知川原町2丁目25-1		
自己評価作成日	平成24年5月1日	評価結果市町村受理日	平成24年7月12日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokouhou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=4590100402&SCD=320&PCD=45
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会		
所在地	宮崎市原町2番22号宮崎県総合福祉センター本館3階		
訪問調査日	平成24年5月23日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

併設の医療機関と連携をとることで、入居者様をはじめご家族にも安心して生活していただいている。日々の生活の中で、入居者個人の持つ力を発揮できる場面を作れるよう支援している。地域の中での結び付きも、徐々にではあるが図れてきている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

母体法人が所有するビルの3階にホームはあり、1階が関連のクリニック、2階に同じく関連のデイサービスがあり、連携して運営されている。ほとんどの利用者が母体病院からの入居で、気軽な健康相談や急変時に適切な対応が迅速にできることから、医療との連携が密接で、利用者も家族も安心して生活している。まだ開設して2年足らずの歴史の浅いホームであるが、管理者は人材育成に力を入れ、認知症ケア専門士等の有資格者が多く、質の高い心のこもったケアが実践されている。また、管理者は、利用者の家族一人ひとりに月に1回、日々の生活の様子を手紙で詳しく報告し、家族から喜ばれ信頼関係を築いている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開所前に当時の職員で作上げた理念である。職員の入れ替わりや、地域との関わりの変化の中、理念の再構築等の必要がある事を職員全員認識している。新しい理念作りに取り組んでいきたい。	開設前に、職員全員で話し合いの上作り上げた、地域を重視した理念が、自治会への加入や地域行事への積極的な参加として実践されている。	新しい理念作りに全員で取り組んでいる。利用者が幸せに安心して暮らし続けることができるような理念を期待したい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入会し、地域の避難訓練や地区運動会などにも参加できているが、日常化は今後の課題と考えている。	自治会に加入し、地域の防災訓練に参加したり、地域の運動会に利用者と一緒に見学するなど交流を深めている。また、管理者は、認知症サポーター養成講座の講師として地域に貢献している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	「認知症サポーター養成講座」などを地域包括支援センターと共に行うなど、関わりができてつつある。今後も、積極的に取り組んでいきたい。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者の日常生活の報告や、事業所として取り組んできた事などを報告している。運営推進会議に参加して下さる方々のご意見を、サービス向上に向けて取り上げている。	自治会に加入したことにより、自治会長が新しくメンバーに加わり、地域の情報が速やかに伝わるようになった。その結果として、地域の防災訓練への参加や運動会の見学等につながっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括支援センターの職員や、地域のサービス事業所などとも交流を行い、地域の方々の問題を一緒に解決しようと取り組んだ。	運営状況の報告や課題等については相談している。また、市が主催する研修会等には積極的に参加して、協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束とは何か職員で考え、拘束を行わないケアに取り組んでいる。玄関の施錠も行っていない。以前、やむを得ずベッドに柵をするケースがあったが、本人・家族の了承のもと行い、経過をみて解除を行った。	法人内で身体拘束や虐待防止の研修会を定期的に行っている。職員は、身体拘束の弊害を十分理解しており、見守りを通して利用者の行動パターンを把握し、身体拘束のないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	全員が「虐待防止」について勉強会に参加、若しくは帰り報告を聞き、学んでいる。おおむね理解できている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会を持ち、現在問題を抱えている入居者に活用できるよう努力している。金銭管理など、職員間での話し合いで解決した例もある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、また、改定の際には、十分に説明を行い、理解・納得を図っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者や家族が運営推進会議に出席できるよう配慮しているが、参加は難しい状態である。毎月、家族へこまめに連絡を行い(手紙・電話)、直接意見などを聞きだせるよう配慮している。	家族の来訪時にできるだけ声をかけ、意見や要望を引き出す努力をしている。また、管理者が毎月、家族に手紙で日々の生活の様子を詳しく報告し、家族との信頼関係を築いている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月一回、職員会議を行い、意見を聞く機会を設けている。また、日々細かな情報交換を行えるよう配慮している。	毎月職員会議を開き、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。また、法人内・外の研修報告や理念の見直しについても話し合いを行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアパスを設けている。やりがいを持って働けるよう、環境整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内での年間を通じた学習会の実施・参加を行っている。法人外への研修の参加も、各人のステップに合わせて行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の交流や、連絡協議会や研修などへの参加など行っているが、他事業所との交流の場は少ない。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始前に、家族や関わった事業所から十分な情報を聞き、アセスメントを行っている。利用開始後も、利用者本人と話し合ったりなどして、信頼関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前には家族と十分話し合い、本人・家族の思いを受け止めるよう努力している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その時々で変化する支援内容を、観察などを通してしっかりと把握していきたい。現在は、他のサービス利用は行っていないが、必要があれば、相談できるよう連携をとっている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人ができる事を、自信を持って行えるようスタッフが支援している。生き生きと過ごせるよう、食事作りや日々のレクリエーションなどを行い、一緒に楽しく暮らせるよう配慮している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との外出や、行事などの案内を行い、できるだけ同じ時間を共有できるよう配慮している。また、状況を細かに連絡しながら、家族ができる支援も伝え、実践してもらっている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	訪ねて来られる友人やご家族と、ゆっくり時間が過ごせるよう配慮している。利用者にもよるが、手紙を書く支援も行った。	知人や友人がいつでも気軽に訪問して、ゆっくり過ごしてもらえるような環境づくりに努めている。また、家族や知人に手紙を書く利用者にも温かく支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士で考え、行動する時は、スタッフは見守っている。また、お互いの良さを認めあえるよう、スタッフが間に入り、関係がスムーズになるよう配慮している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	終了は、死亡がほとんどである。その場合も、その後、家族が訪ねてくるような関係作りができています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	思いや希望を全て把握・実現は出来ていないが、コミュニケーションやセンター方式を活用する事で、把握する事に努めている。	利用者との日々の暮らしの中で、思いや意向を理解するためのアプローチを一つひとつ丁寧に行い、把握に努めている。家族や関係者の情報も活用している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を用い、把握に努めている。また、御家族やご本人からも聞き取りを行い、情報の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人ができる事を一緒に探しながら、生き生きと生活出来るよう努めている。また、情報の共有をスタッフ間で行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	センター方式に全員で取り組んでいるが、十分活用されておらず、計画作成に活かせていない。	センター方式(認知症の人のためのケアマネジメント方式)を採り入れ、職員全員で話し合い検討して、利用者本位のきめ細かな介護計画を作成している。	本人や家族の思いや要望を採り入れ、月に1回程度はモニタリングを行い、担当者だけでなく、職員全員が積極的に介護計画の作成に取り組まれるように期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	センター方式を使用し、日々の記録を行っている。気付いた事はスタッフ間で話し合いを行うが、計画作成・見直しに反映されていない。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	臨機応変に対応できるよう、スタッフ間で常に話し合いの場を設けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の活用は、十分には行えていない。地域へ少しずつ出かけているところであり、今後の課題である。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望により、連携のクリニックの往診を受けている。必要に応じて、認知症専門医の受診を受けている入居者もあり、家族と共に、受診へつなげている。	ほとんどの利用者が1階のクリニックを掛かりつけ医としている。月に2回の往診があり、いつでも受診や相談ができる良好な関係が築かれている。認知症専門医を受診している利用者もいる。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携をとっているクリニックの看護師と、日々情報交換を行い、早期の適切な治療へつなげている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、必要な情報をあげ、スムーズな入院へつなげている。退院時にも、施設の希望を伝え、早期に退院できるよう協力関係を築いている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に、「重度化した場合の指針」を説明・同意をもらっている。実際に看取りを行う場合も、常に家族と話し合い、医療機関にも情報をあげている。看取りの際には、チームでしっかり支援できるよう、スタッフ間でも申し送りをこまめに行っている。	重度化した場合や終末期のあり方については、利用開始時に利用者や家族に方針を詳しく説明し、同意を得ている。チームでしっかりと支援ができるよう、関係者全員の共有ができており、実績もある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	医療連携により、急変時には医療機関の協力の下、早めに対応できている。経験が浅い職員については、知識不足もあり、今後学習を深めたい。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練は実施しているが、地域の協力については、今後の課題である。	年に2回、消防署の協力を得て避難訓練を行っている。本年度は、夜間を想定した避難訓練を実施している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々にあった言葉かけを行い、誇りやプライバシーを傷つけないよう努めている。	利用者一人ひとりの人格を尊重し、名前の呼び方や人前で恥ずかしい思いをさせるような対応がないよう、細心の配慮をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	質問する中で出てきた話の中から、思いを探るように努力している。意思表示が難しい方についても、表情や言葉を拾って、自己決定できるよう工夫している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	つい、業務に流されてしまうことが多い。職員間で話し合いを続けていきたい。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服を着替える時は色を選んでもらったり、希望を聞くようにしたりしている。モーニングケアやナイトケアなども徹底し、御本人が恥ずかしい思いをしないよう、気を配っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備は、野菜切りや盛り付けなど、力量に応じて、利用者と共にしている。職員も同じ食卓につき、楽しく食事を行っている。	利用者の好みに配慮して、旬の新鮮な食材を採り入れたメニューとなっている。利用者と職員と一緒に食事の準備をし、同じテーブルを囲んで楽しく食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事摂取状態、飲む量・食べる量についても、職員間で情報共有しながら支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、しっかりと行っており、自分で出来ない方については介助を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	センター方式のシートを活用し、排泄のサインを読み取り、トイレへの誘導を行うなどの支援を行っている。	排せつチェック表を活用して、利用者一人ひとりの排せつパターンを把握し、トイレで排せつできるよう自立に向けて支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個人個人の排便のパターンを把握している。運動を毎日行い、繊維のあるものをしっかりと摂取できるよう、食事やおやつにも配慮している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	時間帯を決めて行っている。一人ひとりの要望には、全て合わせられていないのが現状である。入浴時には、ゆったりと入浴していただき、満足していただいている。	入浴は週に2回～3回としているが、希望があればできるだけ希望に沿えるように、柔軟に支援している。ゆったりと気持ちよく入浴ができるよう配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その人の生活習慣にあった支援が行えている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療連携機関や、必要があれば薬局の薬剤師に相談し、理解に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割を持った生活を支援したり、毎日のレクリエーションや毎月の行事など行っているが、その人に合った気分転換・楽しみごとの追求までには至っていない。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的に気軽に外出できていないが、季節に応じた外出や、ちょっとした散歩は努力して行っている。季節に応じた外出は、家族やボランティアの協力の下、行っている。	近隣や近くの公園までの散歩が日常的にできるよう努めている。また、ボランティアや家族の協力を得て、季節に応じて花見やドライブに出かけている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人で所有出来ている方については「お買い物ノート」を作り、本人やスタッフで残高管理している。家族から金銭を預かっている方についてもノートを利用し、家族に確認をしてもらっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば、電話をかけるなどの支援を行っている。字が書ける方については、手紙を書くよう支援することもある。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に温度・湿度、光・換気に気を配っている。難聴の方がいるため、どうしてもテレビの音が大きくなりがちだが、他の方の迷惑にならないよう配慮している。	共用の空間は、窓が広く展望が開け、リビングや廊下が広く、ゆったりと居心地よく過ごせるように工夫がされている。採光、換気、温湿等にも配慮が行き届いている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人になりたい時に座れるソファの配置や、好きな方同士で座っていただけるよう配慮している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具の持ち込みや、家族の写真を飾るなど、家族の協力の下、心地よく過ごせるよう工夫している。	使い慣れた家具や寝具、家族との思い出の写真等、本人が大事にしているなじみの物が持ち込まれ、安心して居心地よく過ごせるように工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	毎日使用する道具などは、スタッフの手を借りなくても入居者が自由に取り出せるように工夫している。ベランダへの出入り口に新たに手すりを設け、安全に出入りできるようにした。		